

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 東住吉区

学 校 名 矢田北小学校

学校長名 清水 健司

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・矢田北小学校では、第6学年 25名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は、大阪市平均より1ポイント、全国平均より2ポイント低い結果だった。しかし、算数の平均正答率は、大阪市平均より2ポイント高く、全国平均より0.6ポイント高い結果だった。無回答率についても、全国平均と比べると、国語科は3.6ポイント、算数科は2.4ポイント低い(良い)結果だった。

国語科の「我が国の言語文化に関する事項」と「書くこと」については、全国・大阪市平均を上回った。しかし、「話すこと・聞くこと」や「読むこと」については全国平均より7.8ポイント・4ポイントと低く、課題でもある。

算数科では、4つの領域中の「数と計算」「図形」「データの活用」の3領域で、大阪市平均を超える結果となった。「変化と関係」の領域だけが、全国平均より9ポイント低く、課題である。

今後も引き続き、基礎基本の学力の定着とともに、更なる学力の底上げが必要である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「漢字を使って書き直す」ことや「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする」ことについては、成果がある。しかし、「話し言葉と書き言葉との違いに気付く」ことや「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する」ことには、課題がある。

〔算数〕

「図形」の問題については、全国・大阪府平均よりも高く、大いに成果がある。特に「角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述する」問題については、全国・大阪府平均よりも16ポイント高い。しかし、「変化と関係」分野での「速さに関する問題」や、「数と計算」分野での「除数が小数である場合の除法に関する問題」に弱い傾向がある。

国語・算数をはじめ、全ての教科で「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりを進め、自分の考えを自ら発表する場の設定を作っていく。また、「学力向上支援チーム事業」や「学校力upベース事業」、放課後学習や区役所と連携をしている放課後学習塾「なでしこ」等も引き続き活用し、それぞれの課題にあった習熟度別授業を展開し、個に応じた支援を進め、学力向上に取り組んでいく。

質問調査より

児童質問紙の結果を見ると、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の肯定的割合が100ポイントと高く、本校での人権教育の実践の成果であると考えられる。また、「国語の授業は好きですか」「算数の授業は好きですか」の肯定的割合が、全国平均よりも20ポイント高く、教員の授業改善や「楽しい・わかる」授業づくりを進めていった結果であると考えられる。

しかし、「友達関係に満足していますか」の肯定的割合が全国平均より低く(全国より27ポイント)、友達関係で悩んでいる児童が多いと考えられる。また、「PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度しようしましたか(週3回以上)」の肯定的割合も全国より低く(全国より35ポイント)、よりICT機器を活用した授業づくりを日々進めていく必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

本校は、今年度の研究テーマを、「学びの楽しさを味わう算数科の指導をめざして～進んで考え、考えたことを表現したいと思う授業づくり～」としている。学習が定着し、算数科の学力を向上させるには、児童が算数に興味をもち、「楽しい」「わかった」という実感をもつことが必要不可欠である。児童自らが課題に向き合い、主体的に考え、身につけたことを活用する中で習得した力がついたことを実感することができるようにする。児童がより理解できる手立てとして、習熟度別少人数授業やT・Tを活用し、反復練習による基礎的・基本的な学力の定着を図る。「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を進め、「考える・発表する」機会を積極的にもち、説明できる力の育成にも力を入れる。

また、国語科では、「読むこと・書くこと」の指導法を充実させ、「自分の思いや考えを進んで表現する」ことによって、児童の学力向上を目指す。どの教科でも、授業の「めあて」の明確化をし、ICT機器や一人一台端末を活用した視覚的教材の工夫等により、「わかる授業」を目指す。さらに、児童が自信をもって行動してほしいという面でポジティブな行動支援(PBS)の考え方も並行して取り組む。加えて、「学力向上支援チーム事業(重点支援)」を活用し、「教員の授業力向上」「子ども一人ひとりの課題に応じた指導の充実」を図り、「誰一人取り残さない学力の向上」を目指す。

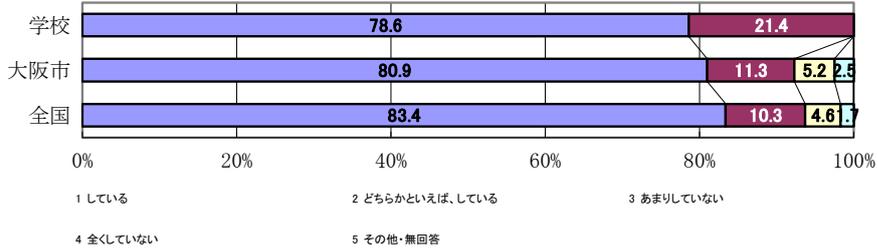
学校の整備面では、学校司書と連携し、活用しやすい図書館改革を進め、読書や調べ学習がしやすい図書館を目指す。図書館開放や「地域の方による読み聞かせ」「読書通帳」等を活用することで、本に親しみ、調べ学習のしやすい環境づくりを進める。また、「漢字検定」や「子ども新聞」「自主学习ノート」の活用を通して、学習に対する興味・関心を高め、学力の向上につなげていきたい。さらに、学びコラボレーターによる放課後学習や区役所と連携をしている放課後学習塾「なでしこ」も活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図っていく。

児童質問より

質問番号
質問事項

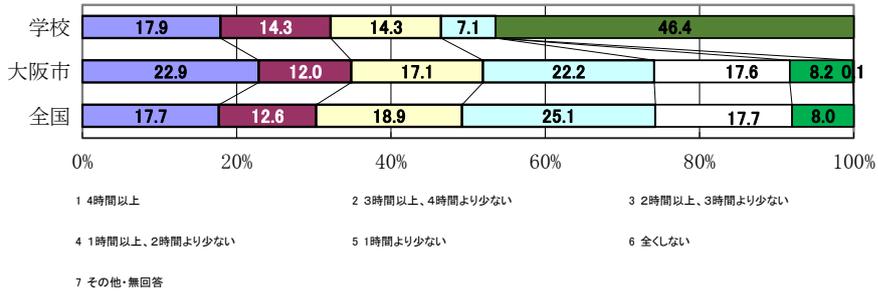
1

朝食を毎日食べていますか



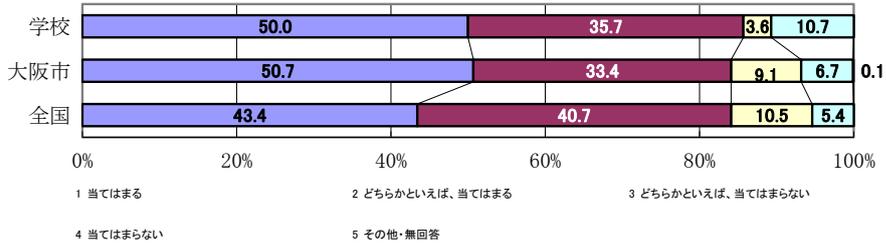
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



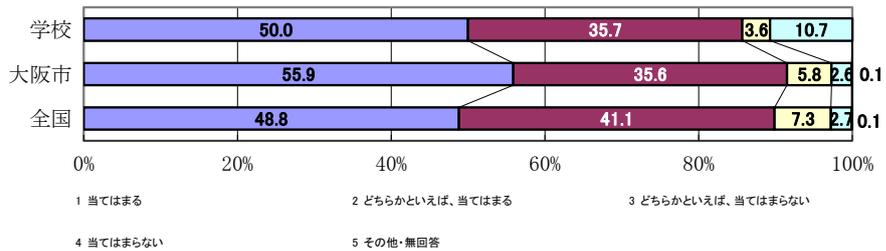
9

自分には、よいところがあると思いますか



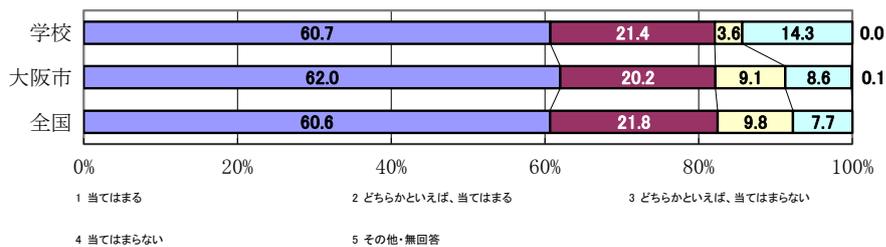
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



11

将来の夢や目標を持っていますか



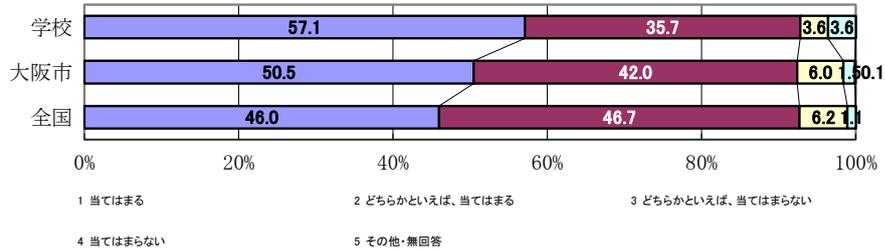
児童質問より

質問番号

質問事項

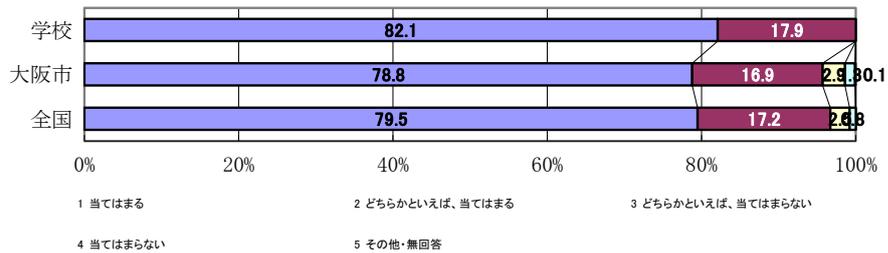
12

人が困っているときは、進んで
助けていますか



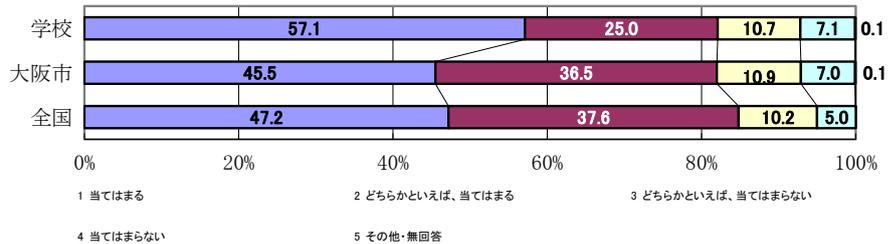
13

いじめは、どんな理由があっても
いけなないことだと思いますか



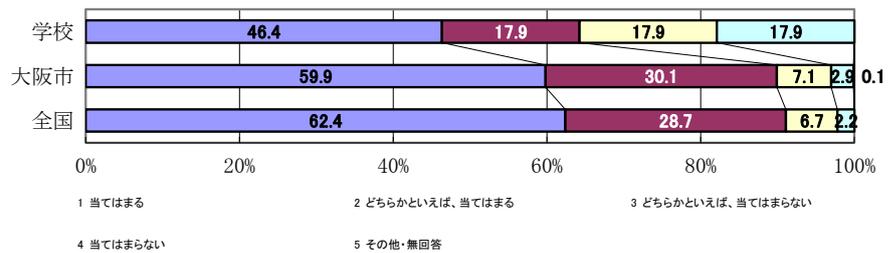
16

学校に行くのは楽しいと思っ
ますか



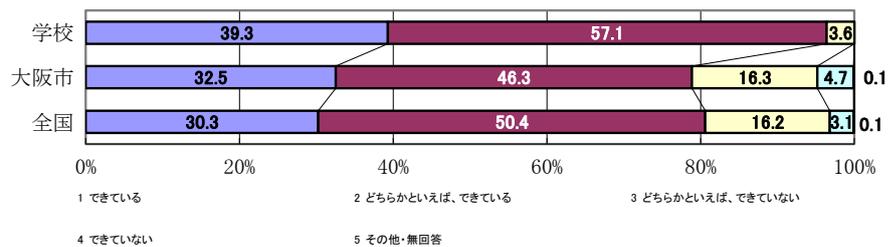
18

友達関係に満足していますか



20

分からないことや詳しく知りた
いことがあったときに、自分で
学び方を考え、工夫することは
できていますか

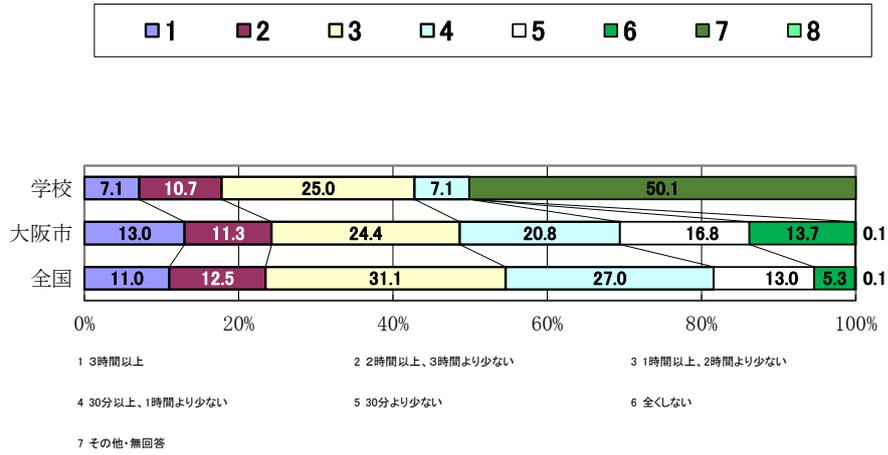


児童質問より

質問番号
質問事項

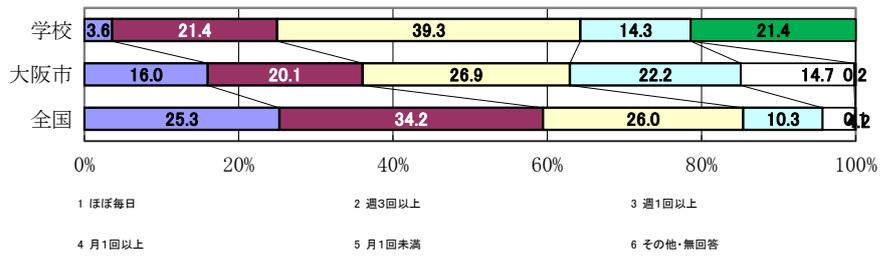
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



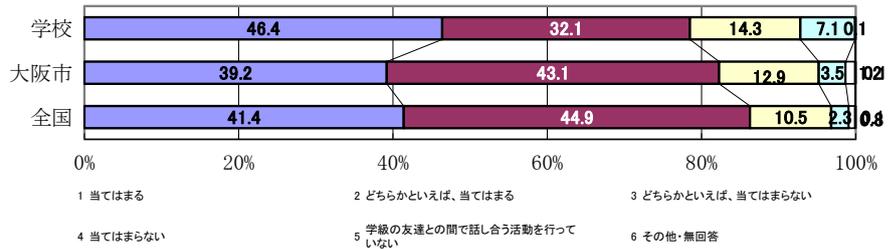
27

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



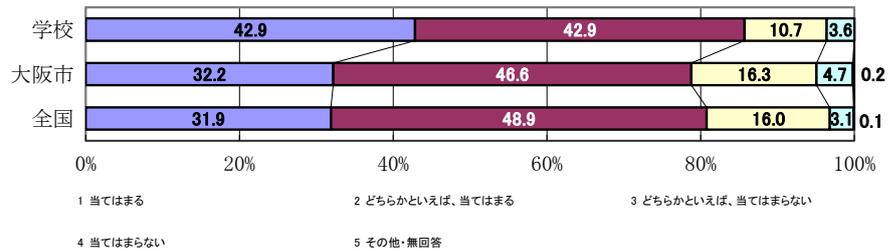
33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



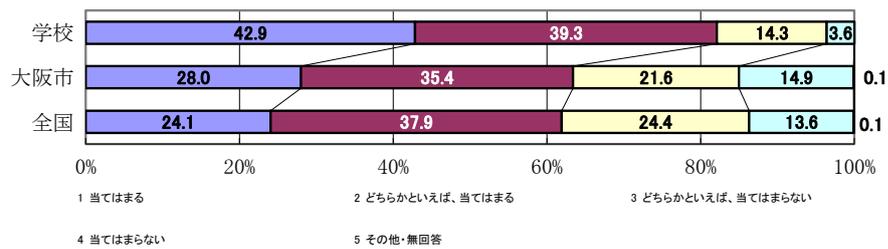
34

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



42

国語の勉強は好きですか

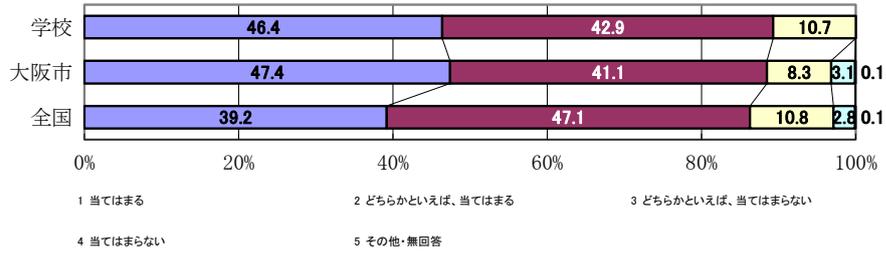


児童質問より

質問番号
質問事項

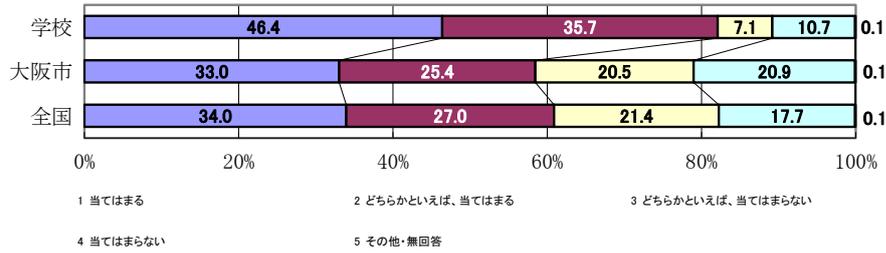
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



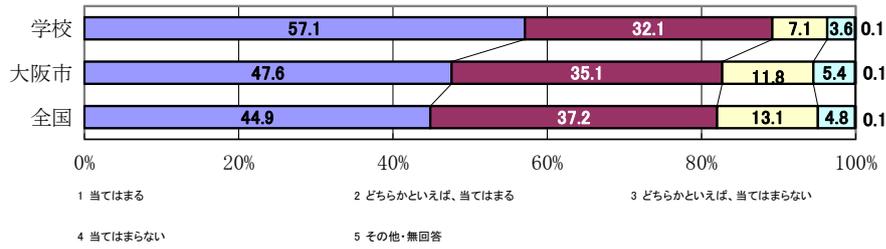
50

算数の勉強は好きですか



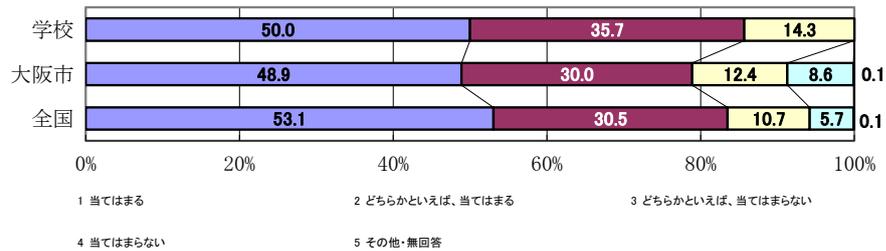
52

算数の授業の内容はよく分かりますか



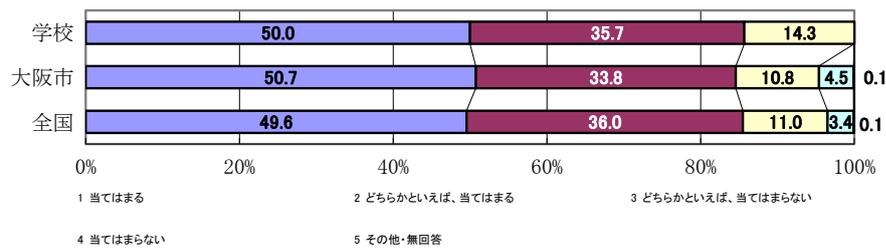
58

理科の勉強は好きですか



60

理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

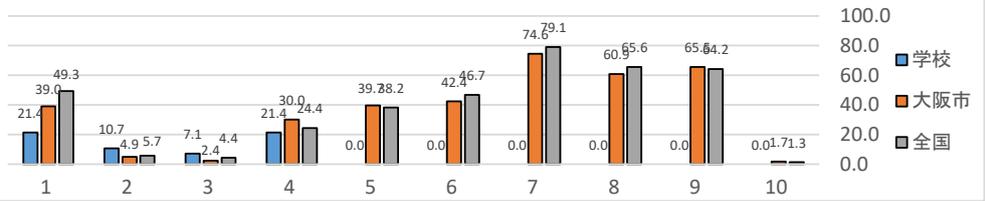


児童質問より(26)

| |
|------|
| 質問番号 |
| 質問事項 |

26

放課後や週末に何を
 過ごすことが多い
 ですか
 (複数選択)



- 1 家で勉強や読書をしている
- 2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している
- 3 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)
- 4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- 5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている
- 6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている
- 7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている
- 8 家族と過ごしている
- 9 友達と遊んでいる
- 10 1~9に当てはまるものがない

学校質問より

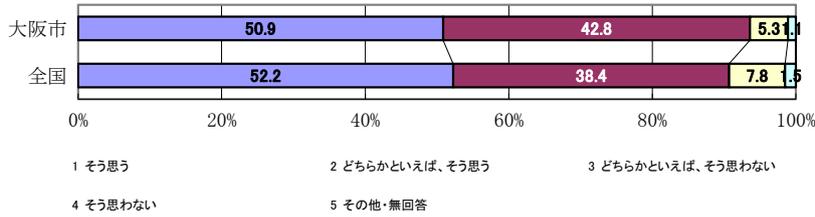
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号
質問事項

8

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

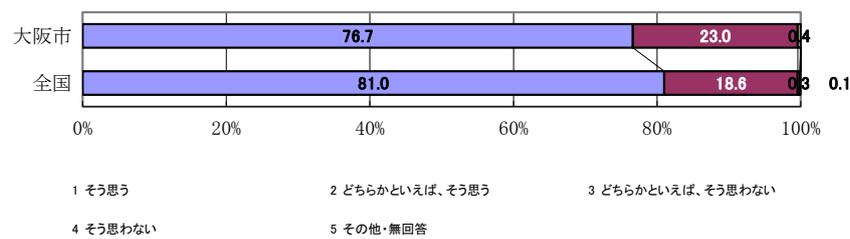
学校 「そう思う」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

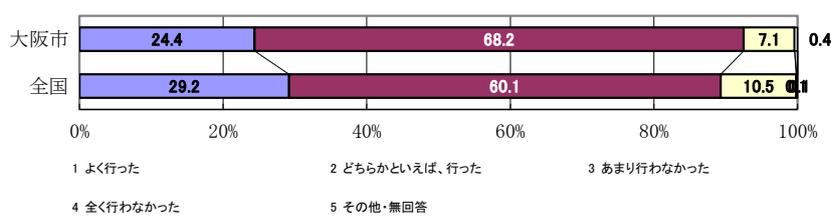
学校 「そう思う」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

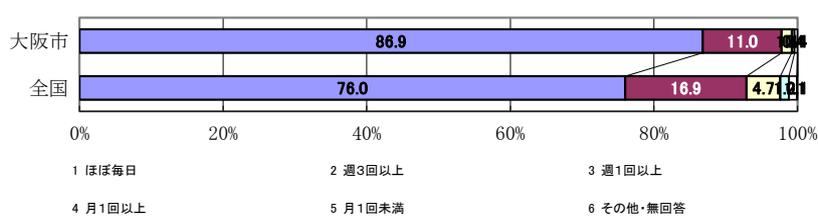
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



71

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか

学校 「よく行った」を選択

